

令和元年度 東京大学地震研究所共同利用研究集会
「広帯域波動現象の観測とその背景にある物理モデルの解明」

日時：令和元年 12 月 23 日（月）・24 日（火）

会場：東京大学地震研究所 1 号館 2 階セミナー室

発表時間

口頭発表：20 分（発表 13 分、質疑応答 7 分）

口頭短縮：5 分（発表 4 分、質疑応答 1 分。プログラムに※で表示。）

2019 年 12 月 23 日（月）

13:00 はじめに

古村孝志（東大地震研）

【座長 小木曾仁】

13:05 S19-01 海岸地すべりにおける地震波形記録に含まれる繰り返し間隔 10-20 秒の震動について

土井一生・松浦純生（京大防災研）

・大澤光（筑波大山岳科学センター）

・柴崎達也・土佐信一（(株)国土防災技術）

13:25 S19-02 固体層構造における leaking mode II

西澤修（九大）・齊藤竜彦（防災科研）

13:45 S19-03 DONET 水圧計記録への水平成分を含む海底地震動の影響
水谷 歩・蓬田清（北大）

14:05 S19-04 海底で観測されるレイリー波の楕円率：海水と堆積層の影響

福島駿・蓬田清（北大）

14:25 S19-05 地震波干渉法による茨城沖領域の 1 次元 S 波速度構造推定
※ 山谷里奈・望月公廣・悪原岳・市村強・藤田航平
・山口拓真（東大地震研）・堀高峰（JAMSTEC）

14:30-14:50 休憩 20 分

【座長 武村俊介】

- 14:50 S19-06 北海道の火山フロント周辺の散乱減衰構造の局所的な変動：東北日本との比較
益田英勝・蓬田清（北大）・椎名高裕（東大地震研）
- 15:10 S19-07 森吉山の群発地震における特徴的な波群の波形形状の時間変化とその要因
雨澤勇太・小菅正裕・前田拓人（弘前大）
- 15:30 S19-08 乾燥過程における模型砂層地盤中を伝わる弾性波の伝播特性変化
中山雅之・川方裕則・平野史郎（立命館大学）
・土井一生（京大防災研）
- 15:50 S19-09 地震波トモグラフィ法による東北地方北部の3次元地震波速度構造の推定
※ 須藤侑弥・小菅正裕・前田拓人（弘前大）
- 15:55 S19-10 海底地震計探査データのリバースタイム反射波解析と沈み込み帯地殻構造
※ 白石和也（JAMSTEC）・新部貴夫（JAPEx）
・山田泰広（JAMSTEC）
- 16:00 S19-11 地震波干渉法によるマントル不連続面での反射P波の検出に向けて
※ 加藤翔太・西田究（東大地震研）

16:05-16:25 休憩 20分

【座長 江本賢太郎】

- 16:25 S19-12 テクトニック地震の微小な非ダブルカップル成分：Real or artifact?
今西和俊（産総研）
- 16:45 S19-13 差分法を用いたスカラー波の weak localization のシミュレーション
佐藤 雅将・河原純（茨城大学）
- 17:05 S19-14 固体地球のランダム不均質構造のスペクトルと等方散乱係数の冪乗則
佐藤春夫（東北大）

17:40 懇親会開始

2019年12月24日(火)

【座長 雨澤勇太】

- 9:00 S19-15 特徴的な Love 波パルスの成因と海域・陸域の伝播特性
古村孝志(東大地震研)・BLN Kennett(オーストラリア
国立大学)
- 9:20 S19-16 津波発生場の海底水圧変動モデリング:2015年 Mw6.0 小
笠原海溝地震直上における水圧観測
久保田達矢・齊藤竜彦(防災科研)・深尾良夫
(JAMSTEC)・杉岡裕子(神大)・伊藤亜妃
(JAMSTEC)・山下幹也(産総研)・利根川貴志
(JAMSTEC)・塩原肇(東大地震研)
- 9:40 S19-17 地震波と津波が同時に存在する波動場を再現する連成計算
齊藤竜彦・久保田達矢(防災科研)
- 10:00 S19-18 浅部低周波微動の地震動シミュレーション:付加体、海水
および短波長構造の影響
※ 武村俊介(東大地震研)・江本賢太郎(東北大)
・矢部優(産総研)
- 10:05 S19-19 地震動シミュレーションによる地殻構造のランダム不均質
性の強さと地震波振幅のばらつきの関係
※ 吉本和生(横浜市大)・武村俊介(東大地震研)
- 10:10 S19-20 遠地地震の S 波入射に対する関東堆積盆地の応答の空間変
化
※ 中川結絵(横浜市大)・吉本和生(横浜市大)
・武村俊介(東大地震研)

10:15-10:35 休憩 20分

【座長 廣瀬郁】

- 10:35 S19-21 空間微分量を用いた地震波動場の構成要素分解
前田拓人(弘前大)
- 10:55 S19-22 MeSO-net の観測記録とシミュレーション波形を用いた波
動場の回転・発散成分による表面波の位相速度推定の試み
島津香織(横浜市大)・吉本和生(横浜市大)
・武村俊介(東大地震研)

- 11:15 S19-23 高周波数極限を用いない一般化した漸近波線理論：地震波
動場の特異領域への応用
蓬田清（北大）
- 11:35 S19-24 南海トラフにおけるフィリピン海プレートの面粗さ
高橋努・仲西理子・小平秀一（JAMSTEC）
・金田義行（香川大）
- 11:55 S19-25 「揺れの数値予報」の高速化に向けた検討
※ 小木曾仁（気象研究所）

12:00-13:20 昼食

【座長 久保田達矢】

- 13:20 S19-26 地殻浅部の低周波地震：2008年岩手・宮城内陸地震の余
震
小菅正裕（弘前大）
- 13:40 S19-27 スラブ内地震で観測される高周波波群後続波の特徴と不均
質構造
椎名高裕（東大地震研）・勝俣啓・蓬田清（北大）
・加藤愛太郎（東大地震研）
- 14:00 S19-28 S-net で観測されたコーダ波水平成分振幅の非等方性につ
いて
澤崎 郁・中村武史（防災科研）
- 14:20 S19-29 光ファイバーケーブルと DAS を用いた波動場解析
江本賢太郎・西村太志・中原恒・三浦哲・山本希・杉村俊
輔・植田尚大・石川歩（東北大）・木村恒久（シュルンベ
ルジェ）
- 14:40 S19-30 AR モデルに基づく地震波速度の時間変化の解析
※ 中原恒（東北大）
- 14:45 S19-31 地震波干渉法と独立成分分析(ICA)を用いた表面波の抽出
※ 二宮啓（産総研）

14:50-15:10 休憩 20分

【座長 澤崎郁】

- 15:10 S19-32 雑微動の相互相関関数を用いた、2011年東北地方太平洋
沖地震に伴う地震波散乱特性変化の空間分布推定

- 15:30 S19-33 地震波干渉法による地震波速度構造モニタリング: 拡張カルマンフィルタの適応
廣瀬郁 (防災科研)
- 15:50 S19-34 プレート境界の潮汐応答
西田究 (東大地震研)
利根川貴志・木村俊則・白石和也 (JAMSTEC)・矢部優
(産総研)・深尾良夫・荒木英一郎 (JAMSTEC)・木下
正高 (東大地震研)・真田佳典・三浦誠一・中村恭之・小
平秀一 (JAMSTEC)